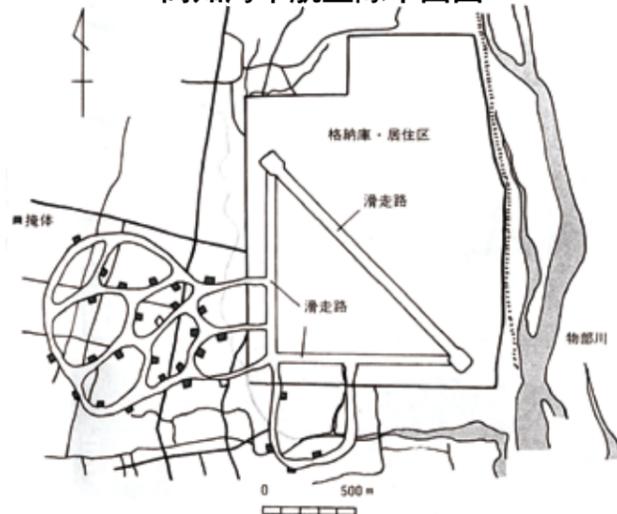


掩体(えんたい)とは

掩体は、飛行機の格納庫で、防衛庁(高知空港史)の資料によると、当時、中型15基、小型9基、W型17基あったと記されています。掩体は、敵の攻撃から飛行機を守るための構造物で、その中には、鉄筋コンクリート製のもの、木や竹、土で造られたもの、屋根がなく擁壁のみのものなどもありました。

現在残っているものはコンクリート製のもの7基だけです。当時の掩体にも中央の滑走路からそれぞれの掩体までは東西3本、南北4本の幅約40mの誘導路が張り巡らされていました。現在残っているものでは、一番大きいものは幅44m、奥行き23m、高さ8.5mで、その他の6基はほぼ大きさは同じで、幅22m、奥行き12m、高さ5mのドーム状のものです。

高知海軍航空隊平面図



えんたい 掩体は語る

何を訴えているのだろうか

どんな歴史があるのだろうか



南国市教育委員会

お問い合わせは生涯学習課(088-880-6569)
平成29年3月(4版)

掩体の天井には、「むしろ」やセメント袋の跡がついています。なぜでしょうか。実は、このことによって掩体の造り方がわかるのです。

まず掩体と同じ大きさの土まじりを作ります。大勢の人々がその上に上がり踏み固めます。その作業をしていたのは、中学生、近くのお母さん、高知刑務所の受刑者、朝鮮半島から強制的に連れてこられた人々などでした。固められた土の上に「むしろ」やセメント袋などを敷き詰めます。その上にセメントを流し込み、塗り固めます。セメントが固まったら、中の土をすべて取り除きます。こうして掩体のドームが出来上がります。天井には「むしろ」や袋のしわの跡が残るわけです。

もの言わぬ掩体ですが、無言のうちに戦争の悲しさ、平和の大切さを訴えています。



南国市の掩体の状況

4号掩体

他と比較すると一回り大きく幅44m、奥行き23m、高さ8.5mの巨大な掩体で、双発の大型機が入れます。そのため後部は他の掩体の形と違っています。



2号掩体

前浜公民館のすぐ西側にあり、南国市教育委員会が説明板を建てていますので、この説明板を読みながら見学することができます。



1号掩体

他の6基が東または南向きであるのに対して、この掩体は西向きとなっています。この掩体には、アメリカのグラマン戦闘機によって激しい機銃掃射を受けた大小合わせて約60個の弾の痕跡がついています。



平成18年2月21日に「前浜掩体群」(まへはまえんたいぐん)として南国市史跡に指定をされました。



5号掩体

公園整備され、いつでも見学ができます。入口に戦後、倉庫として使われた痕跡があります。



7号掩体

大湊小学校のすぐ北にあります。この掩体は戦後、後部を打ち抜いて、道と水路が通っています。内側に、むしろとセメント袋の跡が残っているのを間近に見ることができます。



3号掩体

いつの頃からか全面にツタが生え特徴的であり、県道のすぐそばにあるため、一番目につきやすい掩体です。

6号掩体

県道の東側にあり、民家に遮られて県道からは見えにくい位置にあります。



全国の主な掩体の状況

自治体名	現存数
千葉県 茂原市	11基
大分県 宇佐市	10基
高知県 南国市	7基
北海道 根室市	6基
千葉県 匝瑳市	4基

文化財に指定されている掩体

宇佐市 城井1号掩体壕

行橋市 稲童1号掩体壕



1941(昭和16)年1月から1944(昭和19)年にかけて、三島村は軍用飛行場として国に強制的に買収されることになりました。「戦争に勝つためには」の合言葉の前には、だれも反対できませんでした。先祖代々住み慣れたふるさとを、住民は涙をぬぐいながら離れていきました。移転先を探し家を建てたり、田畑を買うことにも、多くの村民が苦労しました。海岸の砂利をトラックや荷車、リヤカーなどを使って運び、村の土地を整理していきました。物部川の洪水や津波のときに逃げ登ったと伝えられている命山も次第に削られ、飛行場の形になっていきました。こうして、263戸、約1500人が生活していた三島村は消えてしまったのです。

消えた三島村

アクセス
高知龍馬空港からタクシーで7分。JR後免駅からタクシーで15分。
とさでん交通バス大湊小学校前下車、徒歩2分。

⑭陣山送信所（南国市陣山）

高知海軍航空隊の送信所は、飛行場の北方約5kmの南国市陣山にありました。1942年末から土地の買収が始まり、3.7haの用地に、送信所の建物と高さ45mのアンテナ柱3本が建てられました。練習機「白菊」と地上との通信や連絡は、この送信所からの電波でなされていました。空襲の激化を予想して、近くの「陣山」という小山に横穴壕を掘り、通信機をその壕に移し、地下送信所となりました。



この壕の建設には、少数でしたが朝鮮人労働者が働かされていました。陣山壕は、高さ・幅とも2.5m、総延長が230mもあり、壁も天井もコンクリートで上塗りされていて、当時とほとんど同じままで残っています。巨大な通信機など機械類はもうありませんが、それを据え付けていた台座は処々に見られます。壕には現在コウモリの集団がすみ付いています。

終戦後、この広大な送信所の敷地には、香長平野に駐屯していた65,000人の四国防衛軍の武器・弾薬が集積され、広い敷地は弾薬庫の山となっていました。

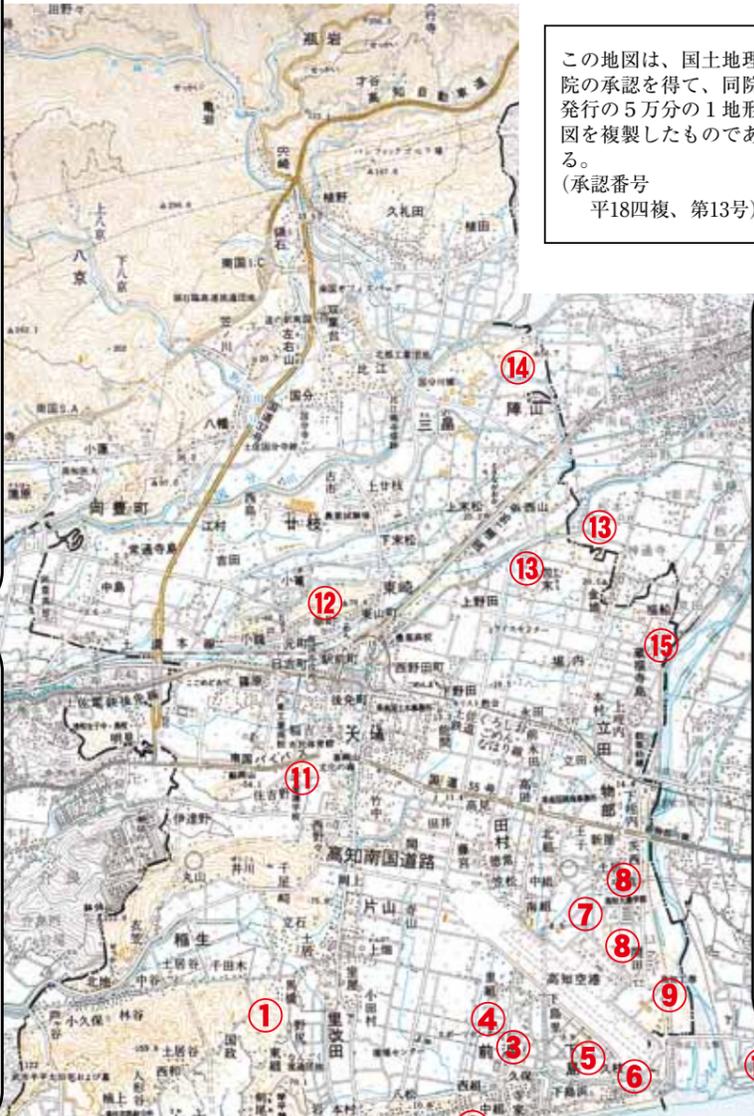
1945年11月19日、その解体作業中に火災事故が起り、砲弾が大爆発し、約1,700戸の民家が被害を受けました。

⑫監視哨（しょう）（歳越山…としごえやま）

JR後免駅の北方の小山の頂上に監視哨がありました。監視哨とは、敵の飛行機がどの方向から何機来るのかを監視する場所のことです。山頂に直径2m、深さ1mくらいの穴を掘り、その中でじっと耳を澄ましていたのです。穴の中では、余計な音は聞こえず、飛行機の爆音だけが聞き取れるのです。

アメリカがレーダーを使用していたのと比べると、なんと原始的な方法だったのでしょう。もちろん当時の日本は、それしかなかったのです。55年を過ぎた現在では、監視哨の跡形もありません。

香長平野の戦争遺跡



この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平18四複、第13号)

⑬練習機「白菊」空中衝突事故の碑

南国市包末北部、舟入川から南方200mの地点に、かなり大きな「慰霊碑」が建っています。



碑文には「太平洋戦争が苛烈を極めた昭和19年10月14日、旧高知海軍航空隊練習機2機が飛行訓練中接触し、（1機は）包末部落のこの地点より北東50mの地と、（もう1機は）松本部落305-1番地に墜落、12名の若者が無念の最後を遂ぐ。ここに殉職せし12霊の平安と永遠の平和を祈念してこの碑を建つ。昭和61年10月14日」と刻まれています。12名の死亡者はすべて県外出身者でした。土佐山田町松本にも碑が建っています。碑は、それぞれ包末部落の有志、松本部落の有志、岩村農協、元海軍航空隊の寄付金によって建てられました。

⑪吾岡山の横穴壕（南国市大浦）

国道55号線の南側の吾岡山（海拔63.5m）には、四国防衛軍の陣地があり、横穴壕がたくさんありました。戦後は壊されたり、入口が塞がったりして、現在確認できるものは3カ所ぐらいとなっています。写真の壕は国道から見えますが、これは戦後に農民が壕を利用しようとして入口を塞ぎ、ドアを付けたものです。壕は弾薬庫、武器庫、飯場、宿舎などとして使われていました。



⑥高知海軍航空隊之碑



現在の高知龍馬空港、高知大学農学部、高知工業高等専門学校は、元海軍航空隊でした。1944（昭和19）年3月15日、偵察搭乗員の訓練を主な任務とする高知海軍航空隊が開隊し、士官160名、兵員3,600名、機上作業練習機「白菊」55機が配置されました。

⑧高知大学内の指揮所と通信所跡

高知大学農学部の北東隅に4基の通信所跡があります。地上の構造物は戦後爆破されていますが、内部は完全な形で残されており、厚さ50cm以上のコンクリートでできています。



通信所跡

⑦三島小学校跡碑



⑤開拓記念碑



⑮蔵福寺島のトーチカ



①43連隊のトーチカと塹壕跡



②四国防衛軍のトーチカ



④前浜掩体群



⑨海軍のトーチカ（南国市物部）

南国市物部から飛行場の周辺には、米軍機を迎え撃つ20ミリ機関銃を据え付けていたトーチカが3カ所あったようです。戦争中、ここで米軍機5機（9機という説も）を撃墜したということですが、グラマン戦闘機以外の機体は確認されていません。



現在残っているトーチカは、高知工業高等専門学校南東の物部川堤防に1つだけであり、直径約1m、円柱形でコンクリートの厚さは約20cmと頑丈にできています。

③旧前浜小学校

1945年7月4日（午前1時25分から1時間、B29、125機による高度3,100mからの）高知大空襲の時、南国市の住吉野も焼夷弾爆撃を受け、中田昌賀宅など全焼3戸、半焼2戸の被害を受けています。南国市内には、海軍航空隊の飛行場があったので、その周辺は度々爆撃や機銃攻撃を受けています。中でも前浜小学校は飛行場のど真ん中にあり、掩体に取り囲まれて建っていましたので、爆弾で校舎の西半分は吹き飛び、明治時代の風格を備えた玄関と東半分だけ残りました。今ではそこも取り壊され、現在は何の痕跡も残っていません。

各説明文等については、ブックレット「掩体物語」編集委員会（事務局香長セミナー館088-863-3117）発行のブックレット「掩体物語」から引用及び参考にさせていただきました。